

世界文化遺産登録の現状と今後



羽曳野市・堺市・藤井寺市・大阪府の4者による百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産の平成29年度の登録に向け、登録までの計画を質問。市は「今年7月に国で審議、4つの推薦候補から1件が決定される。決定されない場合は、4者で今後の対応を議論する」と答弁。4者の協力を一層進めることを要望しました。

茶山グラウンド・峰塚公園管理棟は

二つの管理棟は、古墳のガイダンスや情報発信の機能を持っていますが、災害時の対策も含め 職員やガイドができる人を配置し、市民や来訪者に開かれた施設となるよう要望しました。

脱原発めざし、電力の地産地消を

電気料金の2回の値上げで、市財政に約5000万円の大きな影響を及ぼします。

こんな中、自前の電力を生み出すことは、電気料金の抑制と脱原発にもつながります。市は、電力の地産地消という観点で、知恵と工夫をこらす取り組みが必要です。太陽光だけでなく、小水力など利用し、自ら電力を生み出すことを通し、原発ゼロの社会をめざしていくよう要望しました。

普通教室にエアコン設置を

市は暑さ対策にエアコンが効果があると認め、調査費を計上しました。「今年6月から9月の間に、普通及び支援教室の温度や湿度の測定調査やエアコン設置のための必要な費用などの試算する」との事です。しかし、調査結果を踏まえた今後の設置計画が示されません。暑い夏、子どもたちがよりよい環境で授業が受けられるよう、国の補助金も活用して、一日も早く設置するよう強く要望しました。

外環状線西浦交差点の交通安全対策を



西浦交差点付近に引き続き、商業施設がオープンします。今以上に、交通混雑が予想されますが、その対策や安全対策などはどのように考えているのでしょうか。市は、交差点東側の道路について開発協議の中で混雑対策や安全対策を協議してきているので、期待できると答弁しています。本当でしょうか。今後の状況など見て十分な安全対策、渋滞対策を要望しました。



大阪都構想は終結

市は「大阪市民の住民投票の結果、都構想は終結、当市と府は二重行政の可能性はない」と答弁しました。

「戦争法案」の撤回を

住民の命を守る立場で、国会での「戦争法案」の撤回を求めました。市は「国会の審議を注視する」、市長は「憲法遵守は当然の責務」との答弁にとどまりました。

中学校給食の改善を 選択制から全員給食へ



今の社会経済情勢の下で、子どもに手作り弁当を持たせることが、だんだんと困難になってきているのではないのでしょうか。教育委員会は、そうした家庭の状況を調査し、保護者の考えなどを認識しているのか、それでもまだ「家庭の手作り弁当が基本」と考えているのかを質問しました。

発育盛りの生徒に栄養バランスのとれた食事、そして食育としての中学校給食を保障する立場で、中学校給食の全員喫食化をめざすべきです。

しなづせせらぎの道(島泉1丁目)への流水を

しなづせせらぎの道の河川は、機械の老朽化に伴い、現在は夏休みの始まりから8日間しか水が流れていません。



市は「期間が延長できないか試運転結果を踏まえ対応したい」との答弁ですが、せめて夏休みの期間中だけでも水を流して市民の願いに応えてほしいと要望しました。

日本共産党が提案した3本の意見書は、 他党派の賛同が得られず不採択となりました

- ◆「国際平和支援法案」「平和安全法制整備法案」の撤回を求める意見書(案)
- ◆農協法「改正」案の撤回を求める意見書(案)
- ◆「マイナンバー」制度実施を延期し、廃止を求める意見書(案)

今議会に全会一致で採択された意見書

「認知症への取り組みの充実強化に関する意見書」

住民の声、議会に届け実現せまる

日本共産党